

令和 5 年度 部の運営方針管理書

部 局 名	水道局
部 局 長 名	古谷 靖
部の運営方針	<p>我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に掲げた、3つの基本目標及び6つの基本方針に基づき、令和5年度は主に次の取り組みを実施します。</p> <p>I. 安全</p> <p>1. 良質な水道の維持 水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を行うため、「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査を行います。また、自己水源（深井戸）の計画的な機能保全を図るため、「取水井維持活用方針」に基づき、2か所の井戸について浚渫工事を行います。</p> <p>II. 強靱</p> <p>2. 施設強靱性の維持 浄水場整備では、停電時にも継続して浄水場施設を運転するため、非常用発電機更新工事を妻子原浄水場と湖北台浄水場でそれぞれ実施します。水道管路整備では、経年配水管路および基幹管路の耐震化を図るための布設替え工事を行います（総延長は約4kmの予定）。</p> <p>3. 災害対応の強化 県内水道事業体間における各種情報伝達訓練、市民と連携した応急給水訓練を行います。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため局内で事故対応訓練を行うほか、必要な機材の整備も進めます。</p> <p>III. 持続</p> <p>4. 事業継続性の確保 基本計画と経営戦略は計画期間5年目を迎え、社会情勢の変化で収益や事業費用の計画値と実績に乖離がみられること、北千葉広域水道企業団全体の水需要、当市における受水及び自己水源の運用コストの変化などを精査する必要があることから、基本計画と経営戦略を点検・総括のうえ見直しを行います。 このほか、漏水防止対策として漏水調査を実施し、浄水有効利用に取り組めます。 業務効率化方策では、「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、引き続きお客様サービス向上と業務効率化に努めます。 また、次世代の水道実務を担う人材の育成のため、職責に応じ必要な研修を実施します。</p> <p>5. 財政健全性の確保 将来にわたり長期間使用する水道施設の整備に要する費用の負担を、世代間で平準化するために、引き続き企業債を活用します。</p> <p>6. 将来につなげる新施策の考察 水道にかかる新技術について最新知見や先進事業の動向を注視し、導入に向けた調査・研究を進めます。 また、SDGsに向けた取り組み推進のため、職員研修を行います。</p>

令和5年度 課の目標管理書

課名：水道局 経営課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

水道局は「水道事業ビジョン」や「水道事業基本計画」に掲げた基本目標【安全】【強靱】【持続】に沿って取り組みを推進しています。このうち経営課の令和5年度の目標としては、主に次の取り組みを行います。

【持続】水道事業基本計画については社会情勢が大きく変化したため、同計画を点検・総括の上、見直しを行います。業務効率化方策としては引き続き料金・給水・会計業務包括受託事業者と連携してお客様サービスの向上と業務効率化に努めます。また、次世代の水道実務を担う人材育成のための研修を行います。財政面では水道施設の整備に要する費用について、企業債を活用します。新施策の考察では、水道にかかる新技術については他事業体の最新知見の動向を注視し、調査研究を進めます。

【強靱】危機管理体制強化のため、県などが行う情報伝達訓練や九都県市合同防災訓練、市の避難所運営訓練に参加するほか、水道局独自でも事故対応訓練を行います。

2. 課の目標への取組結果

--

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

--

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	応急給水体制の充実		
	担当部署名	水道局 経営課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的・概要	総合防災訓練などを通じて市民と連携した応急給水訓練を行い、災害時の即応能力の向上を図るとともに、県及び他の水道事業者との協定に基づく相互応援体制を維持していきます。			
関連する市の計画等	地域防災計画			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	応急給水体制の充実			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和3年度	決算額	2,332	2,670	0.30	0	0.00	5,002	0	0	0	0	5,002
令和4年度	決算見込額	1,987	2,225	0.25	0	0.00	4,212	0	0	0	0	4,212
令和5年度	当初予算額	2,634	2,323	0.25	0	0.00	4,957	0	0	0	0	4,957
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	市民が参加する応急給水訓練の実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0	3			
活動 指標	水道局独自の訓練(水道局職員対象)の実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	3			
成果 指標	各種訓練に参加した水道局職員の割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			
指標			目標値					
			実績値					
指標			目標値					
			実績値					
指標			目標値					
			実績値					

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	お客様センターの運営		
	担当部署名	水道局 経営課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-7 安全な水道水の安定供給		
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。		
事務事業の目的・概要	お客様センターを効率的に運営し、水道料金の徴収・収納の事務や給水装置工事に係る業務監理などを適切に行ってまいります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	料金の調定・徴収・収納			
	料金・給水・会計業務棟包括業務委託の監理（料金・給水業務分）			
	滞納整理及び給水停止処分			
	給水装置の維持管理			
	給水装置工事監理			
	量水器取替・修繕業務			
	指定給水装置工事事業者の審査			
	貯水槽水道の衛生管理指導			
	直結・増圧給水の普及促進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和3年度	決算額	252,374	27,234	3.06	0	0.00	279,608	0	0	0	0	279,608
令和4年度	決算見込額	255,586	33,731	3.79	0	0.00	289,317	0	0	0	0	289,317
令和5年度	当初予算額	330,678	33,280	3.79	0	0.00	363,958	0	0	0	0	363,958
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	料金等の請求総件数	件	目標値	688,000	692,000	699,000	706,000	710,000
			実績値	693,818	6,998,756			
成果 指標	収納率（過去5年度の収納額合計／過去5年度の調定額合計）	%	目標値	99	99	99	99	99
			実績値	99	99			
指標			目標値					
			実績値					
指標			目標値					
			実績値					
指標			目標値					
			実績値					
指標			目標値					
			実績値					

令和5年度
課の目標管理書

課名：水道局 工務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標「安全」「強靱」「持続」の実現に向け計画的な事業執行に努めます。

また、10年計画のうち5年目を迎える我孫子市水道事業基本計画等の点検・総括、見直しを行い更なる事業の効率化に努めます。

[安全]良質な水道の維持

- ・水質管理業務－「水安全計画」の活用や「水質検査計画」に基づく水質検査を行います。
- ・水源施設の適切な維持管理－「取水井維持管理活用方針」に基づき1号及び3号取水井の浚渫工事を行います。

[強靱]施設強靱性の維持

- ・浄水場整備－停電時に水道水を安定的に供給するため、妻子原浄水場の非常用発電機更新工事（R4からR5の継続事業）及び湖北台浄水場の非常用発電機更新工事（R5からR6の継続事業）を行います。
- ・水道管路整備－船戸、つくし野、泉、中峠、根戸の各地区で配水管路を、岡発戸地区で基幹管路である導水管路を耐震性の高い水道管に布設替えする工事を行います。

[持続]事業継続性の確保

- ・浄水場系包括業務委託の着実な実施と官民連携により引き続き業務の効率化に努めます。

2. 課の目標への取組結果

--

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

--

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	浄水場施設の更新・維持管理	
	担当部署名	水道局 工務課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-7 安全な水道水の安定供給	
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。	
事務事業の目的・概要	適切な浄水場の運用に努めるとともに、老朽化した施設の更新を計画的に進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	浄水場施設の更新業務		
	浄水場系包括業務委託		
	浄水場施設の維持管理業務		
	水質管理業務		
	取水及び受水管理		
継続費設定事業	浄水場施設の更新業務	R4~R5年度 440,143千円、R5~R6年度 704,528千円	
債務負担行為設定事業	浄水場系包括業務委託	R2~R6年度 946,676千円	

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和3年度	決算額	395,773	24,920	2.80	0	0.00	420,693	0	0	0	0	420,693
令和4年度	決算見込額	631,678	24,205	2.90	0	0.00	655,883	0	0	0	0	655,883
令和5年度	当初予算額	803,521	26,300	2.80	0	0.00	829,821	0	0	0	0	829,821
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	設備機器更新と実施計画の件数	件	目標値	13	7	4	7	7
			実績値	13	8			
活動 指標	浄水場維持管理業務終了件数	件	目標値	41	33	29	33	33
			実績値	41	33			
活動 指標	水質検査計画に基づく水質検査実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			
成果 指標	浄水場の適正な維持管理 (浄水場無事故割合)	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			
成果 指標	水質基準適合率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			
		%	目標値					
			実績値					
		%	目標値					
			実績値					

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	水道管路の更新・維持管理		
	担当部署名	水道局 工務課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-7 安全な水道水の安定供給		
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。		
事務事業の目的・概要	水道管路の重要度と老朽度を総合的に判断し、計画的に管路の耐震化を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	水道管路の更新改良・耐震化			
	水道管路施設維持修繕			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和3年度	決算額	395,660	35,244	3.96	0	0.00	430,904	0	0	268,000	0	162,904
令和4年度	決算見込額	704,051	29,275	3.50	2,021	0.60	735,347	0	0	610,940	0	124,407
令和5年度	当初予算額	534,725	31,557	4.20	2,084	0.60	568,366	0	0	455,312	0	113,054
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	耐震管布設替え延長距離	m		目標値	3,605	5,526	3,646	5,000
				実績値	3,537	5,453		
活動 指標	修繕工事実施率	%		目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100		
指標				目標値				
				実績値				
					目標値			
					実績値			
				目標値				
				実績値				